



# 出中だより

第1号

発行 令和8年5月14日(木) 砺波市立出町中学校

## 生徒が主役の出町中学校！ 「自分を発心、みんなを受心」

校長 大村 吉永

令和8年度の出町中学校は、1年生216名を迎え、生徒数622名でスタートしました。今年度も保護者の皆様、地域の皆様とともに生徒が主役となる出町中学校をつくっていきたいと思います。どうか宜しくお願ひいたします。

### 【校訓「天資養活 自他共栄」を心に刻む】

時代がめまぐるしく変化し、価値観も多様化していますが、本校の校訓「天資養活 自他共栄（自分の能力を養い伸ばそう、自分も他者も共に栄えよう）」という教えは、普遍的で、誇り高い内容であると考えています。私はこの校訓を基に、生徒たちに次の2点について繰り返し話をしています。1点目は、自分の可能性を伸ばしてほしいということです。そのために、具体的に行動しようと呼びかけています。結果が大事なのではなく、工夫したり、努力したり、悩んだりした経験そのものが重要であり、その経験こそが自分の可能性を伸ばす源であると伝えています。2点目は、自分も他人も大切にすることです。自分が大切な存在だからこそ、他者も大切な存在なのだ伝えていきます。校訓「天資養活 自他共栄」を生徒、教職員一同しっかりと胸に刻み、歩んでいきたいと思っています。

### 【令和8年度：重点目標】

#### 「自分を発心、みんなを受心」

本校の生徒は、素直で実直に物事に取り組みます。一方で、自分をもっと表現できる生徒になってほしいとも感じています。そこで、今年度の重点目標を、「自分を発心、みんなを受心」としました。「発心」と「受心」には、「心（こころ）」という漢字を使用しました。意図は、自分を心の底から表現してほしいということ。また、分かったことを表現するだけでなく、分からないことは分からない、困ったら困ったと率直に言える力も高めていきたいと考えたからです。また、他者の意見や気持ちを受け止めることができる場の設定を行い、皆で高め合える学校をつくっていきたく考えたからです。この重点目標を実現させるために、生徒自身が課題解決していく授業への改善を更に進めるとともに、出中の伝統である生徒が主体となる生徒会活動など自己選択や自己決定できる活動を更に充実させていきます。

以上、生徒の可能性を伸ばすこと、自分と他者を大切にすること、自分を表現し、互いに高め合える場の設定を教育活動の根幹に据え、教職員一同、保護者の皆様とともに、頑張っていきたいと思っています。どうか一年間宜しくお願ひいたします。

## 令和8年度 1学期予定

- < 5月 > 18日(月) 生徒総会
- < 6月 > 5日(金) 壮行会
- 6日(土) 地区選手権大会(陸上競技)、中文連(美術部門)写生会
- 7日(日) 地区選手権大会(陸上競技)、砺波地区吹奏楽祭
- 13日(土) 地区選手権大会
- 14日(日) 地区選手権大会、富山県合唱の祭典
- 17日(水)～19日(金) 期末考査
- 26日(金) 壮行会
- 29日(月)～7月3日(金) 砺波市「社会に学ぶ『14歳の挑戦』」
- < 7月 > 4日(土)、5日(日)、11日(土)、12日(日)、18日(土)、19日(日) 県選手権大会
- 22日(水)、23日(木) 保護者会
- 24日(金) 1学期終業式、壮行会

学校ホームページ更新中



競技によって  
開催日が異なります